

社会資本総合整備計画 事後評価書												令和07年12月01日
計画の名称	第2期 快適な住環境のまちづくりに向けた社会基盤づくり（防災・安全）											
計画の期間	令和02年度 ～ 令和06年度（5年間）									重点配分対象の該当		
交付対象	八幡平市											
計画の目標	1 道路交通基盤の充実による地域内の連携強化を進めるとともに観光ルートの充実やネットワークの強化など、地域の活力源となる道路網の整備を推進する。 2 道路改築に合せ、学校指定となっている路線について、歩行者及び児童・生徒の安全を確保するため歩道の整備を推進する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	4,754	A	4,754	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R02当初)	(R04末)	(R06末)
1	産業、観光、地域間連携等を支える道路のアクセス時間短縮の向上 整備による時間短縮効果であり、整備前及び整備後の現地走行調査により、次の式で算出する。 $100 - (\Sigma \text{整備後走行時間} / \Sigma \text{現況走行時間}) \times 100 (\%)$	0%	24%	47%
2	学校指定通学路等の歩道整備率 学校指定通学路等における歩道の整備率であり、次の式で算出する。 当該計画歩道整備済延長／当該計画歩道整備予定延長×100（％）	0%	23%	82%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	一般	八幡平市	直接	八幡平市	市町村 道	交安	（１）山子沢線	歩道設置L=160m	八幡平市	■	■	■	■	■	246		－
	A01-002	道路	一般	八幡平市	直接	八幡平市	市町村 道	交安	（他）大更中央線	改良舗装L=360m	八幡平市	■	■	■	■		232		－
	A01-003	道路	一般	八幡平市	直接	八幡平市	市町村 道	改築	（他）鴨志田線ほか	現道拡幅L=3,700m	八幡平市	■	■	■	■	■	925		－
	A01-004	道路	一般	八幡平市	直接	八幡平市	市町村 道	改築	大更駅西口駅前広場整備 事業	駅前広場A=5,000㎡	八幡平市	■	■	■	■		724		－
	A01-005	道路	一般	八幡平市	直接	八幡平市	市町村 道	改築	（２）夏間木線ほか９路 線	現道拡幅L=740m	八幡平市	■	■	■	■		421		－
	A01-006	S街路	一般	八幡平市	直接	八幡平市	S街路	改築	（１）大更駅前線	現道拡幅L=370m	八幡平市	■	■	■	■		1,190		－
	A01-007	道路	一般	八幡平市	直接	八幡平市	市町村 道	改築	（１）安比高原駅線	歩道設置L=680m	八幡平市		■	■	■	■	93		－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-008	道路	一般	八幡平市	直接	八幡平市	市町村 道	改築	田山緊急流入路・退出路 整備事業	緊急流入路・退出路整備	八幡平市			■	■	■	■	61		－
	A01-009	道路	一般	八幡平市	直接	八幡平市	市町村 道	改築	（他）永持 1 号線ほか	改良舗装L=1.3km	八幡平市				■	■	■	632		－
	A01-010	道路	一般	八幡平市	直接	八幡平市	市町村 道	新設	（他）南北支線	改良舗装L=0.4km	八幡平市				■	■	■	230		－
											小計							4,754		
											合計							4,754		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
八幡平市建設課において目標の達成状況やその要因等を確認、取りまとめを行い事後評価を実施	令和7年12月
	公表の方法
	八幡平市ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・整備計画どおり進捗していない状況であるが、改良部分については道路のアクセス時間短縮に向上がみられた。 ・歩道整備により、通学者等の安全が図られ、安心な通行が確保された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	・田山緊急流入路・退出路が整備されたことにより、救急車・消防車等緊急車両の入退出が可能となり、緊急医療体制が強化され、地域住民及び来訪者の安心・安全が確保された。

○特記事項（今後の方針等）

未完了の事業は、次期計画に引き継ぎ完了を目指す。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	100－（Σ整備後走行時間／Σ現況走行時間）×100（％）		
	最 終 目標値	47％	事業量に対して必要な交付金等予算が確保できなかったことにより、当初計画で想定していた事業進捗に遅れが生じたため。
	最 終 実績値	13％	
2	当該計画歩道整備済延長／当該計画歩道整備予定延長×100（％）		
	最 終 目標値	82％	
	最 終 実績値	100％	